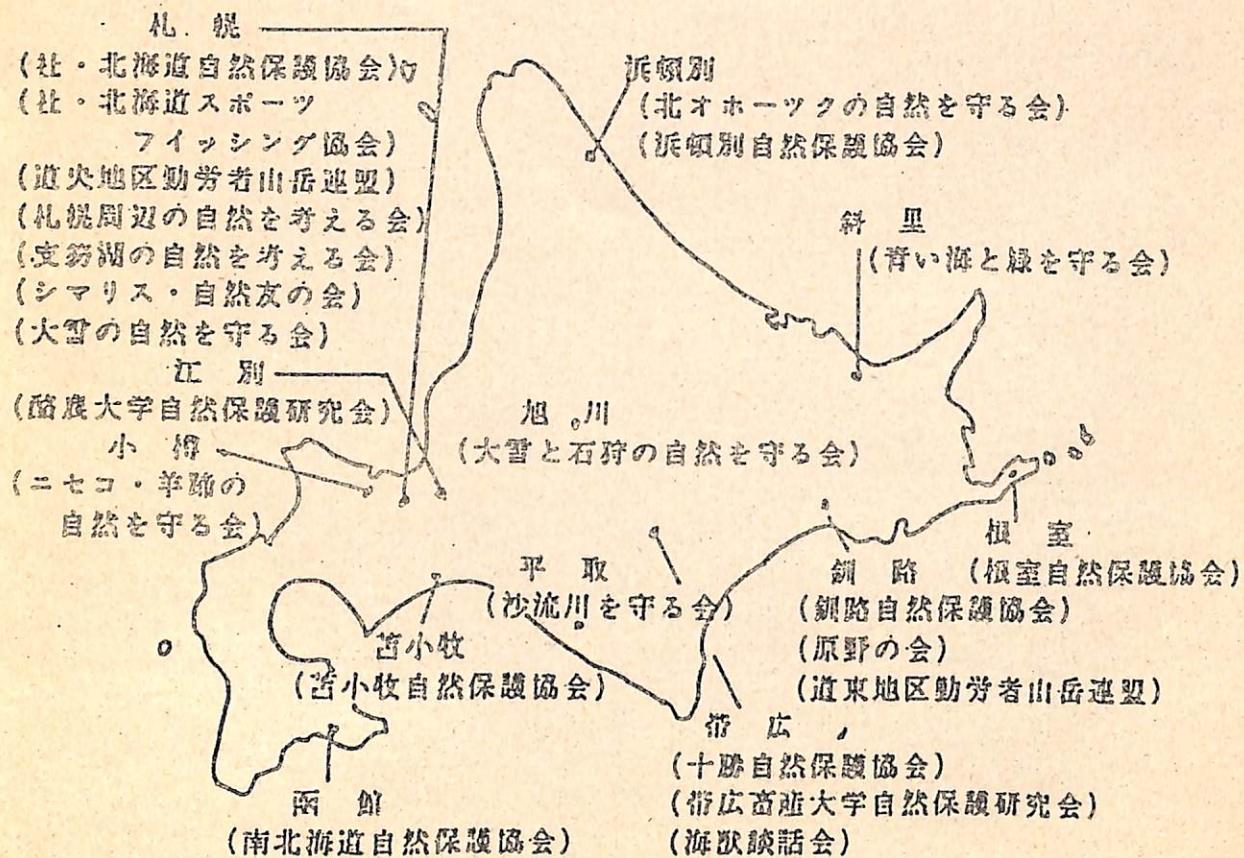


北の自然

第26号

1985年10月20日



組 わ れ て い る 聖 土 域 、 そ の 1

支笏湖レジヤー十基地

◎観光開発の名のもとに

国立公園が誕生して、今年で五十一年。半世紀をむかえたわけです。北海道には、阿寒・大雪山(昭和九年指定)、支笏洞爺(昭和二十四年)、知床(昭和三十九年)、利尻・礼文サロベツ(昭和四十九年)の五ヶ所。これら国立公園はいづれも自然公園法に基づいて指定されています。同じく自然公園法により、国立公園に準じて指定されるのが国定公園。わが国最大の面積をもつ日高山脈襟裳は昭和五十六年に、やっと国定公園に指定されています。国立・国定合わせて九ヶ所、六四九・四三八ヘクタールに及びます。

聖域ともいえる保護区・国立公園が観光開発・道路・ダム・森林伐採などによって、脅かされていきたのは、今にはじまったことではありません。美しい自然の影に、必ずといっていいほど破壊の爪跡がきざまれています。そして今、再び国立公園が集中的に狙われています。観光開発が可能な場所は公園しか残されていなく、本州

はすでに飽和状態で、北海道しかないのでしょうか。

支笏洞爺の「滝

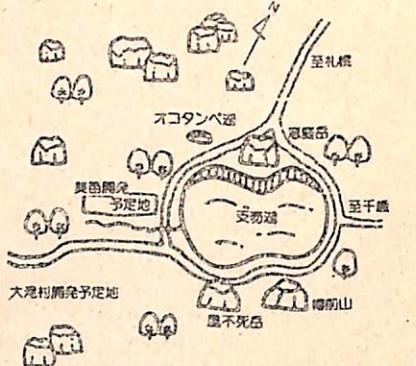
笛環境資源振興計画」がそれです。酷似した計画が大雪山の美瑛富士にもおきています。

◎支笏湖が狙われている

滝笛環境振興協議会の計画概要書(昭和五十八年九月一日現在)によると、発端は、千歳市の昭和五十六年度から一〇ヶ年でスタートさせた「千歳市第三期総合開発計画」にあり、この中で支笏湖周辺の観光開発を打ち出しています。しかし、市単独の開発が無理となるや、隣村の大滝、日本航空、ヤマハ(日本楽器製造)の資本参加を与て、今はやりの第三セクターを設立しようとしました。

計画は、大滝地区と美笛地区とに分けられ、両地区を合わせて通年観光を図るというものです。大滝地区は、対象面積四五〇ヘクタール。白老岳西斜面にスキー場(リフト六基・八コース)、レストハウス、ロッジ、駐車場、展望台、テニスコート、ベンション村、自然勝路(森林浴)など。どんな遊び(スポーツ)ができるのかといふと、スキー、クロスカントリー、ボブスレー、スノーモービル、フィールドアーチェリィ、サイクルスポットなどなど(全てカタカナ、この種のものはもつとわかりやすく書いて欲しいものです)。

問題となるのは、一つに国立公園という保護区であること。二つ目に白老岳周辺は保安林の指定をうけており、重要な水源涵養林となっていること。この周辺を水源と

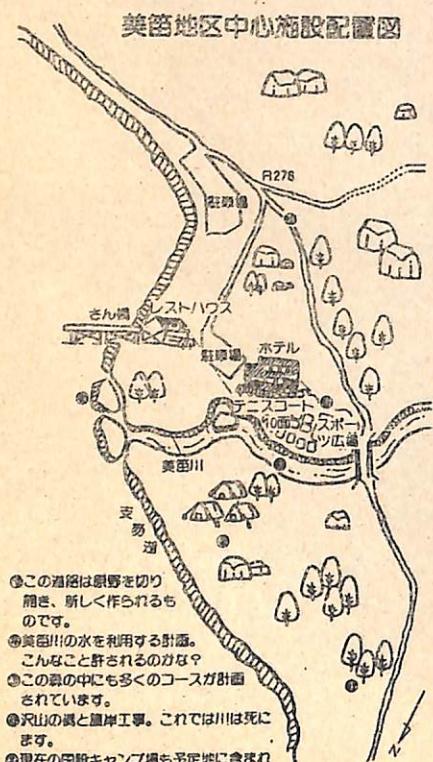


する川が数多くあり、森林伐採による洪水などの危険があります。三つ目に、支笏湖の水質汚染。現状でさえ汚染が進む中、大規模レジャー施設の出現により、一層悪化すること。そして最後に、おいしいところ(利益)の大部分は、本州資本にもつていかれることです。第三セクターの資本配分は、市・村が三、民間が七となってます。この種の開発でよくみられるのは本州へ、ゴミは地元にといたところでしょうか。支笏湖は、札幌という大都市に近いわりに、良好な自然環境を維持しています。恵庭岳・風不死岳・樽前山という山々に囲まれ、おちついた湖といえましょう。ヒグマをはじめ、多くの動植物の生活の場でもあります。この支笏湖に都

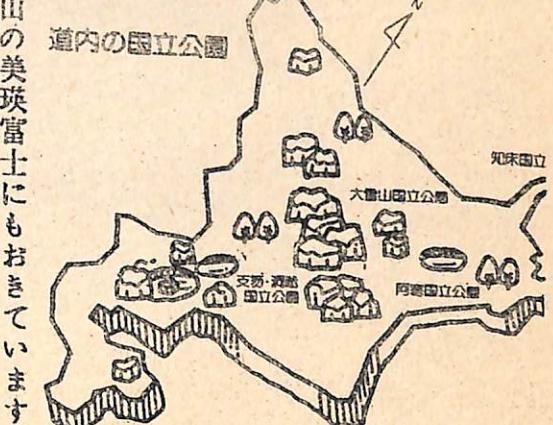
市型レジャーセンター施設をつくり、人を大量に入れることは、とりもなおさず、大きな自然破壊につながります。

美笛地区は、約一六一ヘクタール。支笏湖西湖畔に接する地域です。ここでは、公共施設区(レストハウスなど)、宿泊施設区(三百名収容のホテル・パノールなど)、運動施設区(テニスコートなど)、園地区(広場、山草園など)、に区分されています。

問題となるのは、一つに国立公園という保護区であること。二つ目に白老岳周辺は保安林の指定をうけており、重要な水源涵養林となっていること。この周辺を水源と



(1)この道路は原野を切り開き、新しく作られるものです。
(2)美笛川の水を利用する計画。
こんなこと許されるのがな?
(3)この森の中にも多くのコースが計画されています。
(4)大雪の渓谷と崖岸工事。これでは川は死んでいます。
(5)現在の建設キャンプ場も予定地に含まれています。
(6)水質汚染は目に見えています。



◎計画の一部変更

今年に入り、ヤマハが第三セクターからぬけることになり、計画の変更を余儀なくされました。ヤマハの撤退の意図は明らかではありませんが、計画が遅れることは確定です。

さらに、第三セクターも二つに分かれることになります。白老岳を中心とする開発は、大滝村と民間（道内観光資本）によつて、湖畔は、千歳市と日本航空、他数社が加わる予定です。開発の主体は各々変わりましたが、計画そのものは変わらず、早期着工をめざしています。

◎冬季オリンピックの傷跡を再び

支笏洞爺国立公園といえど、一九七二年の札幌冬季オリンピック大会で、男女滑降コースが恵庭岳につくられています。その面積四四・四ヘクタール。国際的イベントか自然保護かで大搖れに揺れたことは、まだ私たちの記憶に残るところです。大会終了後、当初の約束どおり、復元作業が開始され、二億円ちかいお金がつぎこまれました。しかし、十三年たつた今も、無惨な傷跡をさらしています。一度破壊してしまった自然を取りもどすことが、いかに困難かを思いしらされます。

今再び、湖畔でその二の舞いをしようというのでしょうか。

田中 明子

第一回 高山ミナミ報告

日高セミナーを終えて

八月三、五日に、現地視察とペテガリ岳山行を兼ねた日高自然セミナーを開催した。非常に多くの参加者が殺到したが、二十人以上の参加は、キヤンブ地などの制約もあり残念ながら、先着順に二十人で断つた。参加者は東京の親子二名京都一名を含む二十四名で、そのうち、小樽労山四名、中央労山二名、ビオレ二名、山びこ一名で労山からの参加者は九名。

山行コースのリーダー、サブリーダー、装備、食糧等の準備をこの中の八名で担当し、当日を迎えた。

八月三日、朝九時、札幌駅北口集合、九時半に出発。この日は、ペテガリ岳山莊までの林道を視察しながら山莊へはいった。

バスの中で、自己紹介と兼ねていろいろと参加の理由等を聞いてみたが、ほとんどの人は日高の山へはいってみたいといふ人で、半数は「五十平方ミリ声の買取り運動」に協力してくれた人であった。そして、ある程度山へはいった。

バスの中では、自己紹介と兼ねていろいろと参加の理由等を聞いてみたが、ほとんどの人は日高の山へはいってみたいといふ人で、半数は「五十平方ミリ声の買取り運動」に協力してくれた人であった。そして、ある程度山へはいった。

いろいろな人が記念写真をとり合っていた。東京の二人も、京都の人も、六十一才のとうさんも、五十六才のかあさんも、十九才の女子大生も。

静内から参加された方は、次の詩を送つてきてくれた。

憧れのペテガリ岳の

ピトクに立つたみんなの顔は

汗と髪と感涙に濡れていた

山莊に戻つたみんなの顔は

安堵と達成と連帶の喜びに

包まれていた。

京都からの参加者は、「比良山の自然を守る会」のパンダを送つて来てくれた。

山莊出発後、東の沢ダムと道路工事の現場を見た。道路がつけられた山肌は崩落し、その石が沢を埋めつくし日高を、日のくれるまで二時間余りもながめていただらうか。おそらく、皆登頂した安堵感と日高の山脈への郷愁からか、参加者にとって印象深い終日を迎えていた。

残りの山頂へ行った本隊は、サブリーダー以下十四時半にキャンプサイトへ到着。その日は夕食を作り、その後、ガスのあい間から時々見える日高の山々とペテガリ岳本峰ルをキャンプ地にし、そこを十一時半に出発、山頂へは、十三時に到着した。キャンプ地までは、全員で来たのだが、山頂へ登る最後の登りで、三十才代の二人が途中下山することとなつた。二人とも慣れない荷物をしょつたことと、帰りのことを考てのことだつた。健康上は何も問題は認められなかつたので、すぐに私が同行してキャンプサイトまで、下山した。

残りの山頂へ行った本隊は、サブリーダー以下十四時半にキャンプサイトへ到着。その日は夕食を作り、その後、ガスのあい間から時々見える日高の山々とペテガリ岳本峰ルを、日のくれるまで二時間余りもながめていただらうか。おそらく、皆登頂した安堵感と日高の山脈への郷愁からか、参加者にとって印象深い終日を迎えていた。

八月五日、朝、三時半起床。五時出発、途中、国学院大、中央大、横浜の社会人クラブなど四バーティートとそれ違う。ほとんどが、内地からのパートナーだった。日高の山は全國的ななんだということを思い知らざるとともに、道内パートナーが少ないと淋しく思つた。

十時過ぎにペテガリ山荘到着、暫、いきいきとしていた。

十七時札幌駅口に到着。帰りのバスでは歌まで飛び出し、六十一才のとうさんが歌いだした。五十六才のおばちゃんが山のかわりになつて、もうこれ以上、無用な自然破壊はやめてほしいと訴えた。東京の人たちのために、札幌味の通していくものだろうか。

十選まで紹介された。

とにかくなごやかだった。ペテガリに来てよかったです。
この企画が終わって、参加者のうち一人が中央労山に入
会し、数人の人が自然保護団体連合の会員になりました。
また、感動的な思想文が、一通また一通と寄せられてきて
います。

現在この横断道路は着工され、これを中止にする展望は
はつきりしていません。でも参加者は少なくとも、日高の
山が自分にとって本当に大切な山になつたこと、そうであ
ればあるほどここに道路を作ることがその山を傷つける結
果になるということを、はつきりと知りました。

この企画をやつてよかったです。

室 四 昇

参加者の皆様から寄せ
られた数々の思想文の
一部をここに紹介します。

長 内 久 恵

今回、日高セミナーに参加出来たこと非常に喜んでいます。
そして、セミナー期間中たいへんお世話になりました
自然保護団体連合の方々、山岳連盟の方々に心から感謝し
ています。

個人的に言えば、ペテガリ岳山頂に立てたこと、なによりもうれしく思います。自分の足以外に頼るものがないと

いうことを身にしみて感じました。どれをとっても、初めての経験であり、それがまた不安でもあり恐怖でしたが、それも、無事登山を終えたことで、この上ない感動となつて大きな満足感を与えてくれました。

ペテガリ山荘までの道々日高横断道路のことについて話を聞き、実際にダム建設の現場を見て、人間というものがいかに大きな力を持つてしまったか、またその力を過信し、愚かな行為を重ねているか、痛感しました、道路、ダム建設は私が想像していた以上に大規模に進行していました。
無残にえぐり取られた山肌を見ているととても心が痛みます。

この地上には、人間だけが生の営みをしているのではないかに大きな力を持ってしまったか、またその力を過信し、愚かな行為を重ねているか、痛感しました、道路、ダム建設は私が想像していた以上に大規模に進行していました。
無残にえぐり取られた山肌を見ているととても心が痛みます。
考えただけでもゾッとなります。これ以上の破壊を許してはいけないと想いながらも、山へ登りたい、これは矛盾かもしれません。そもそも人が山へ入ってゆくこと自体が厳密に言えば破壊かもしれない、しかし山へ登つて素晴らしい自然に出会うことでの尊さや偉大さも実感できると思います。日高セミナーを終えて、大きな感動を覚えると同時にいろいろな事を考えさせられました。

塚 田 昌 克

ペテガリ岳の頂上に立つことは、私の宿題であった。四月に転勤で北海道平取養護学校静内ペテガリの園分校に勤務するようになり、年内にはどうしても実現させたいと思つていた。その目的(宿題)が果たせてこんな嬉しいことはない。霧の中にすっぽり包まれて、見えるものといえば、頂上のケルンや石ころと周囲のハイマツだけだったが、頂上に立つた人たちの顔や声は喜びにみなぎっていた。

私は、知恵遅れの子供たちの教育に携わっているが、子供の生命や人格を尊重することと自然を擁護することとは共通していると思ってる。今回の、日高セミナーや山行を通して学んだことと目的達成のために努力したことと子供たちに機会をみて教えてやりたい。
リード、サブリードの方々、大変ありがとうございます。

近 藤 秀 順

ペテガリ登山は初心者の私にとっては、非常に厳しい登山であったと同時に自分自身の意志で登つた以上は他人に

迷惑をかけずに下山する事を第一に考えていたので頂上までは登れませんでしたが、自分自身にとっては、非常に満足できる登山であると同時に登山に対する厳しさとより以上上の素晴しさを味わいこれを自分の山登りの第一歩として長く続けていきたいと思います。それから日高の道路建設については、自分としてはこの道路建設自体全く無駄なものであると思っていて、その確認が出来たと思っています。ただ保護運動の中で第三者的の立場にいるものとしては、反対運動の反対ばかり強調するのではなく、もつと具体的に人間と自然の共存のための最低限の保護が必要である事をなどを解りやすくアピールして欲しい、今回においても現にあるダム工事の道や林道を使って、登山をする以上今ある林道自体は必要最小限で認めるとしても、ただこの林道でも多くの自然破壊が起きているのでこれ以上の破壊をしないために日高の道路建設に反対するのか、それとも現状の林道自体も認めないのか、はつきりした主張をしてほしい。

リード、サブリードの方々に大変御世話になりました、自分としては非常に有意義なセミナー参加でした。

1985第6回清掃登山の結果

道央地区労働者山岳連盟自然保護委員会

第6回札幌近郊一斉清掃登山が6月9日に行われました。雨にもかかわらず、一般参加者が多く、市民の中に、浸透してきたことは大きな成果でした。また、小樽の赤岩海岸や、春香山の銀嶺荘など、ゴミの処理に問題のある所はそれぞれ要請書、要望書を送りました。

1985年第6回清掃登山、結果

会名	山名	会員	一般	合計	ゴミの量	主なゴミ、特徴
小樽労山	赤岩	7	0	7	110kg	ゴミ箱中心に
おこばち	塩谷丸山	9	0	9	28kg	空カン多かった
ビオレ	春香山	30	8	38	30kg	ゴミ投棄(銀嶺荘)
登攀俱楽部	手稲山(平和)	8	5	13	42kg	空カン
山彦山友会	札幌岳	20	12	32	16kg	〃
中央労山	無意根山	30	3	33	55kg	〃
北稜クラブ	恵庭岳	17	64	81	7.4kg	ビニール、紙
みどりの風	砸石山	20	14	34	25kg	ビニール類
ファミリー山岳会	手稲山(西の)	17	5	22	28kg	空カン
ユーバロ山歩会	夕張岳	6	12	18	5kg	〃
計		164	123	287	346.4kg	
1984		160	92	252	259.3kg	
1983				202	336kg	

1985年10月20日

編集発行 北海道自然保護団体連合
 代表代行 寺島 一男
 連絡先 札幌市中央区南11条西8丁目
 山鼻レジデンス1008
 電話 (011)511-9126
 振替口座小樽 1-4071

「支笏湖レジャー基地」について
 のご意見をお寄せ下さい。

尚、計画書をご希望の方は、
 事務局までご連絡下さい。
 コピー代と送料がかかります。